

夢や希望を持ち、めあてに向かってねばり強く学び続ける子

古道

元気・本気・根気

チーム古道・オール都路

【第17号】

平成28年12月7日(水)発行 文責 校長 平塚 裕二

古道小学校創立 記念集会

平成28年12月1日で、古道小学校が創立143年を迎えました。その記念すべき日に、創立記念集会を実施し子どもたちに古道小学校の歴史と学校の事について改めて学び直しました。取り上げた内容は以下のとおりです。

〈本校の歴史の振り返り〉

- ・ 古道小の誕生日…明治6年12月1日。創立143年。
※明治6年は西郷隆盛が征韓論に敗れ下野した年。郵便制度が全国に拡大した年。
- ・ 最高児童数…514人（昭和34年度）
- ・ 卒業生…約4600人
- ・ 昔の学校の様子
- ・ 学校名の変遷



〈今年、築いてきた歴史と伝統〉

- ・ 4～11月の学校行事や授業などの写真等による振り返り

〈めざす学校〉

- ・ 古道小学校最後の卒業生となる6年生は、古道小学校から都路小学校へと変わることに向けて、新しい校歌にも歌われている「すずらん坂」にすずらんを咲かせたいと「すずらん復活プロジェクト」が進行中です。
- ・ 在校生は、古道小学校のどのような伝統を受け継ぎ、都路小学校へ引き継いでいくのかを、残りの4ヶ月で考えていきましょう。

※ 講話終了後、「学校創立記念 スコアオリエンテーリング大会」を実施しました。今年は、iPadを活用し、写真撮影しながらグループで行動しましたので、より深く学校を理解することができました。



スポーツこころ のプロジェクト

11/29に「スポーツ笑顔の教室」が行われました。この教室は、東日本大震災で被災したすべての子どもたちのこころの回復の支援を行う「スポーツこころのプロジェクト」の活動で、現役のスポーツ選手やそ

のOB・OGが夢先生として教壇に立ちます。

今回の夢先生は、ヴィッセル神戸などに所属していた元サッカー選手で、現在、解説員をされている「佐藤悠介さん」でした。

5年生が佐藤先生と一緒に楽しく体力づくりを行いました。



すずらん復活プロジェクト



12/2 に6年生が、お世話になった古道小学校へ、そして、新しく都路小学校へ通う後輩達のために何かできないかと考え、都路小学校の校章にもあるすずらんを「すずらん坂」に植え、すずらんが咲きほこる「すずらん坂」にしたい。との想いから「すずらん復活プロジェクト」と銘打ってすずらん植え付けを行いました。

古道小最後の卒業生が植え付けしたすずらんが順調に生長し、都路小学校の後輩達が株分けを兼ねた



植え替えを行い、坂いっばいにすずらんが咲きほこる「すずらん坂」ができあがるのが楽しみです。

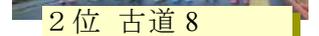
栄光を讃えて～受賞おめでとう～

11/22 の駅伝大会では、たくさんの方々の応援のおかげで、子どもたちも元気に走ることができました。学年ごとの区間順位による表彰者です。

他にも、たくさんの子が自己ベストを更新しました。



	1年	2年	3年	4年	5年	6年
第1位	會見一翔	渡辺蒼空	吉田百花	菅野祐希	吉田隆人	吉田陽平
第2位	高橋琴河		武田佳奈	高橋河和	加藤徳馬	宗像良人
第3位	坪井咲空			吉田脩平	今泉陽翔	高橋公太
	1～3年生 800m、4～6年生 1500m のコースでした					
						本間流星



- 第49回福島県児童作文コンクール **準特選** 6年 朝田萌衣「リーダーとして私が学んだこと」
- 第68回田村地区造形作品展 **推奨** (県造形展出品) 4年 遠藤愛果
- 田村地区家族のきずなエッセイ **入選** 6年 坪井瀬奈 村上翔悟
<スポーツ少年団>
- 第11回会津美里町バレーボール大会 **優勝**
- 第20回好間川杯親善交流新人ソフトボール大会 **優勝**
- 第26回郡山金庫杯少年ソフトボール新人大会 **優勝**
- 田村地方青少年ソフトボール育成協会長杯ソフトボール大会 **優勝**
- 第10回紅葉杯児童ソフトボール大会 **優勝**



駅伝大会各学年の1位

保護者の皆様へ

本校では、子どもの迎えは、交通事故や誘拐等の不審者から身を守るといった安全確保のうえから、「子ども園か職員室にて迎えを待つ」ようにしております。

しかし、最近学校側の道路（歩道）や体育館駐車場で迎えを待つお子さんの姿も見受けられます。

車の出入りが多い場所で待たせるのは、お子さんの安全・安心の確保のうえからも避け、学校の職員室か子ども園で待つようお子さんにお話ししたいと思っております。

併せて、自動車での送りの際も、4月の学校便りでお知らせした経路でお願いいたします。

また、車を降りてからも、バスやその他の車の動きに十分注意しながら、自分の身を守るためにも、左右の安全確認を怠らずに移動や横断をするようご指導願います。

ご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。

